事業番号	83

平成27年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	小牧岩倉衛生組合負担金							担当部	市民生活部	
	会計区分	一般会計		事業類型	実施計画事業				担当課	廃棄物対策課	
	事業期間	平成12年度以前 ～ 平成31年度以降							担当係	ごみ減量推進係	
	総合計画分野別計画 主目的	1 安全・環境 5 ごみ対策 4 ごみの安定処理を推進します									
	総合計画分野別計画 副目的									実施計画対象	○
	予算区分	款	4	項	2	目	2	大	6	中	1
	根拠法令・個別計画	小牧岩倉衛生組合実施計画及び予算									
	目的（対象をどの様な状態にするのか）	小牧岩倉衛生組合は昭和39年に小牧市と岩倉市で設置し、両市のごみの中間処理及び最終処分を行っている。その運営及び処理施設の建設に係る費用を両市で按分して負担することを目的とする。									
	内容（手段）	◆平成26年度実施内容 ○運営費負担金（負担金 530,986,000円） 運営費負担金＝均等割（運営費負担金×10%÷2）+搬入量割（運営費負担金×90%×小牧市の搬入量／小牧市と岩倉市の搬入量） ○建設費負担金(551,884,000円) 建設費負担金＝均等割（建設費負担金×20%÷2）+人口割（建設費負担金×80%×小牧市の人口／小牧市と岩倉市の人口） 【平成26年度搬入量】 47159．18t（小牧市：37388．92t 岩倉市：9770．26t） 【処理施設等】 ・ごみ溶融施設（平成27年3月竣工） 処理方式 シャフ炉ト式ガス化溶融炉(98.5t/日×2炉) ・ごみ破砕施設（平成27年3月竣工） 処理方式 破砕選別方式(27t/5h) ・最終処分場（平成10年4月埋立開始） 処理方法 サンドイッチ工法 埋立容量 293,900㎥ ※新施設であるごみ溶融施設では、燃やすごみと破砕残渣（破砕ごみ、粗大ごみを破砕し、鉄くず等の資源を取り除いたもの）を約1800℃で溶融処理し、資源としてスラグ、メタルを回収するため、資源回収量が増加するとともに、埋立処分量が削減される。 ◆平成26年度直接経費の内訳 負担金：1,082,870千円（運営費：530,986千円、建設費：551,884千円） ◆平成27年度直接経費の内訳 負担金：988,930千円（運営費：604,710千円、建設費：384,220千円）									
	受益者負担	無									

コスト				単位	H24決算額	H25決算額	H26決算額	H27予算額
	費用	直接経費		千円	930,093	999,115	1,082,870	988,930
		正職員	従事者数	人	0.10	0.10	0.10	0.10
			人件費	千円	526	526	526	526
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計		千円	930,619	999,641	1,083,396	989,456
		対前年比		%		107.4	108.3	91.3
	財源	一般財源		千円	930,619	538,622	1,083,396	989,456
		国・県支出金		千円	0	461,019	0	0
		その他財源		千円	0	0	0	0

事業番号	83

業績

活動指標名	単位		H24	H25	H26	H27
可燃ごみ年間搬入量	t	目標	—	—	—	32,900
		実績	33,982	32,971	33,170	
不燃ごみ年間搬入量	t	目標	—	—	—	2,450
		実績	2,850	2,704	2,554	
事業系ごみの年間搬入量（内数）	t	目標	—	—	—	12,500
		実績	12,722	12,109	12,644	

成果指標名	単位		H24	H25	H26	H27
再資源化率	%	目標	－	29.0	29.0	35.2
		実績	－	31.3	30.7	
		目標				
		実績				

事業の自己評価

平成26年度の実施結果	事業の達成状況	環境センターにおいて、小牧市から発生するごみの中間処理及び最終処分を実施した。昭和59年に建設したごみ処理施設の老朽化及びごみ質の多様化に伴い、平成23年度から建設工事を開始した新ごみ処理施設が平成27年3月に竣工した。
	事業実施における課題	新施設においては、従来破砕不燃物として外部処理していた皮革・ガラス等を溶融処理するため、施設の安定稼動等を見極めた上で、市民にとって利便性のある分別方法等を検討する必要性がある。
	事業を縮小・廃止したときの影響	廃掃法上、一般廃棄物の収集・運搬及び処分は市町村の責務とされているものであり、本事業はその内の焼却等の中間処理及び最終処分といった処分を行っている小牧岩倉衛生組合に対して経費負担をしているものであるため、不可欠なものである。
平成27年度の改善内容	27年度における事業の改善・見直し内容（新規追加事項、廃止・削減事項等）	平成27年度に第2期工事として、既設環境センター工場棟解体撤去工事（工期:H28～H29）及びその跡地利用としてストックヤード等建設工事（工期:H30）の実施設計を行う。
平成28年度の事業の方向性	方向性の判定	維　持　　事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの（対象や手段を見直す場合も含む）
	判定理由	廃掃法上、一般廃棄物の収集・運搬及び処分は市町村の責務とされているものであり、本事業はその内の焼却等の中間処理及び最終処分といった処分を行っている小牧岩倉衛生組合に対して経費負担をしているものであるため、不可欠なものである。
	28年度以降の改善案	平成27年度における内容を継続して実施する。

二次評価

方向性の判定	判　定　理　由
維　持	一次評価のとおり。